

## 題材名

主題名：きまりの意義（C 遵法精神、公德心）  
教材名：「二通の手紙」（出典「私たちの道徳」 文部科学省）

## 本授業で育成する資質・能力

主体性

## 研究主題

「自他を認め合い、お互いを大切にして、仲間と共によりよく生きようとする生徒の育成」  
～「考えを深める」道徳の授業づくりと評価を通して～

1 日 時 平成30年6月27日（水） 5校時（13：25～14：15）

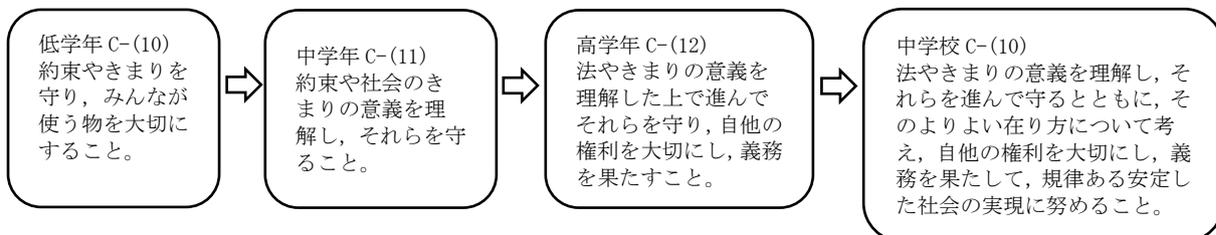
2 学 年 第2学年A組（男子8名 女子9名 合計17名）

## 3 本時の主題について

本主題は、内容項目C「主として集団や社会との関わりに関すること」の「法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること」にあたる。

「法やきまり」は、集団に秩序を与え、摩擦を最小限にするために、人間の知恵が生み出したものであり、社会の秩序と規律を守ることによって、個人の自由が保障されることを理解することが大切である。中学生の発達段階では法や規則を軽視し、自分自身に関わる行為が自分や他人にどのような結果をもたらすのか深く考えることができない面も見られる。生活を制限するものとして法を捉え、仕方なく法に従うのではなく、一人一人が当事者として関心をもち、その在り方について考えなくてはならない。自分自身を守るためだけでなく、他者の権利や生活を守るため、また規律ある安定した社会の実現のために遵法精神を大切にして日々の生活を送っていかうとする態度を育てていくことが重要である。

## 内容項目C 遵法精神・公德心に係る各学年の指導の観点



## 4 本時の主題に係る生徒の実態について

本学級の「生徒の意識調査」についてのアンケートは、下記の結果である。（欠席者1名）

- 「道徳の授業はためになっている」肯定的評価 100%（16名）
- 「学校のきまりを守っている」肯定的評価 94%（16名中15名）
- 「良いことと悪いことを判断し、自分が正しいと思ったことを行っている」肯定的評価 100%（16名）

このアンケート結果を見ると、きまりを守ることが大切であるという意識は十分に育ってきている学級であることが分かる。更に生徒それぞれ正しく判断し、行動していきたいという思いはしっかりと持っていることが日々の生活の様子からうかがえる。しかしながら、ルールは大切だという意識や正しく行動したいという思いはしっかりともちつつも、実際の生徒の行動では、その場の雰囲気や流れに流され、正しい判断ができない場面や、自分の利己的な感情に負けて行動してしまっている様子も多々見られる。

そこで、生徒には、法やきまりの根底には、思いやりの心が関わっていることに気付かせると共に、きまりの意義やルールを破った時に与える社会や集団の秩序について考えさせ、日々の生活でもしっかりと物事について考え、判断し、自ら行動する態度を育てていく必要がある。

## 5 教材について

主人公の元さんは、動物園の規則を知っていながら、幼い姉弟の思いに同情し、入園を許してしまう。元さんの行為は、母親からは感謝されることになったが、規則を破って入場させたことから大騒ぎとなり、その結果懲戒処分を受けることとなった。

元さんが受け取った、姉弟の母から届いた感謝の手紙と動物園側から届いた懲戒処分の通知書の「二通の手紙」について考えることで、社会におけるきまりの意義、公私との関わり、自他の権利と義務について深く考えることのできる教材である。個人的な感情による行動が社会や集団の秩序を乱してしまうことについても考えさせたい。

## 6 指導過程の工夫

### ①「広げる」工夫

- 生徒の活発な発言、議論を引き出すため、教材範読後に初発の感想を問い、自由に発言させる。
- 生徒の意見を細かく見取りながら、意見をつなぐことで多面的・多角的な考えに触れさせる。
- 自身の考えを自由に記述できるようワークシートにメモ欄を設ける。

### ②「つなげる」工夫

- 教員と生徒だけのやり取りにならないよう、追加の意見や反論等を積極的に拾いつなげる。
- 座席の配置を、グループごとのコの字型に配置することで、グループ内や全体の多様な考えを交流しやすくする。
- 授業のねらいに迫るためのキーワードや表情や動きを記載した「見取りシート」を作成し、生徒の様子を見取り、ファシリテートに生かす。

### ③「深める」工夫

- 迷いのある発言や悩んでいる様子を意図的に全体に提示し、生徒の本音や行動の難しさを共有する。
- 自己との関わりについて考えさせる発問を展開後半で問い、理解と実態の乖離を意識させる。
- 導入でテーマに関わる発問を行い、道徳的価値についての意識をもたせ授業を展開する。また、終末でも同様にテーマに関わる発問を行い、振り返らせる。

## 7 ねらい

元さんが気付いたことを考えることを通して、きまりの意義を理解し、きまりを遵守し、確実に義務を果たすことで、よりよい集団や社会を作ろうとする道徳的実践意欲を培う。

## 8 準備物

ワークシート、バインダー

## 9 本題材の学習展開

	学習活動	主な発問【○基本発問 ◎中心発問 ㊦補助発問 ㊧深める発問】 □指導上の留意点 ・予想される生徒の反応	教師の動き	
			T1	T2
導入 (5分)	1 本時の主題について考える。	<input type="checkbox"/> ○ルールや規則ってどんなものだと思いますか。 <input type="checkbox"/> □主題について課題意識を引き出す。	発問	板書
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法律</li> <li>・校則</li> <li>・自分を守るもの</li> <li>・集団生活をする上で大切</li> <li>・めんどくさい</li> <li>・たいがい</li> </ul>		

展開 (35分)

2 教材「二通の手紙」を読む。

3 教材について考える。  
グループでの  
コの字型で対話  
を行う。

つなげる

4 主題に関わる  
教材の道徳的価値  
について考える。

○教材を読んでどう思いましたか。 **拡げる**

- 元さんの行動や心情を中心に捉えさせ、できる限り生徒の発言をつなぐ。
- ㊦なぜ元さんは規則を破ってまで入園させたのだろうか。
- ㊦元さんが姉弟を入園させたことは正しいのだろうか。
- ㊦情に流されて、もしも怪我や死に至っていたら元さんは、どう責任を取るのか。
- ㊦母親の手紙を読んで元さんは、どう思ったのだろうか。
- ㊦他に入園したい人がいたらどうするのだろうか。
- ㊦自分が元さんの立場だったらどうするのだろうか。

- 【元さん】**
  - ・元さんの気持ちも分かる。
  - ・元さんのしたことは良いことだと思う。
  - ・元さんの行動が回りに迷惑をかけた。
  - ・人としてはよい行為だと思う。
  - ・なぜ仕事をやめたのだろうか。
  - ・何を考えさせられたのだろうか。
- 【姉弟】**
  - ・無事で良かった。・かわいそう。
  - ・入園できて良かった。
  - ・ルールを守っていない。
- 【仕事仲間】**
  - ・協力していてすごい。
  - ・いい迷惑。
- 【動物園】**
  - ・もし何かあったら評判が落ちる。
  - ・懲戒処分にななくても。
- 【親】**
  - ・うれしかったと思う。

◎元さんが「この年になって初めて考えさせられたこと」とは何だろう。 **深める**

- 法やきまりの意義について意識を高める。
- ㊦元さんはなぜ晴れ晴れとした表情で去って行ったのだろうか。

- ・規則を破ると、結局は多くの人に迷惑をかけてしまう。
- ・情に流されることが許されないとときもある。
- ・自分のしたことは二人には喜んでもらえたけれど入れないことがあの二人のためだったのかもしれない。
- ・規則を破り危険な目にあわせた以上責任は大きい。
- ・規則を守ることが、入園者を守ることになる。
- ・ルールは自分や周りの人、社会のためにある。

㊦「きまりを守ること」にはどんな意味があるのだろうか。 **深める**

- 法やきまりを破ることの社会的な影響についても考えさせる。

- ・自分や相手を守る。
- ・破ったときの責任は大きい。
- ・規則を守るとは、動物園や入園者を守る。
- ・ルールは自分や周りの人、社会のためにある。
- ・安心して暮らせる社会、集団となる。

㊦きまりを守ることが大切なことは分かっているのに元さんやあなたが守れないことがあるのはなぜだろう。 **深める**

- 自分自身との関わりの中で主題について考えを深める。

- ・きまりを破ったときの影響を意識できていないから。
- ・ついこのぐらいならと考えてしまうことがあるから。
- ・判断する場面で先を見通すことができないから。
- ・いいことをしたと思ってしまっているから。

範読  
発問  
発問  
機関指導  
機関指導  
板書  
つなげる  
発問  
発問  
機関指導  
機関指導  
板書  
深める  
深める

終末（10分）	<p>5 今日の授業を振り返り、感想を書く。</p>	<p>□ 振り返りの交流を行う。  ☆ きまりの意義を理解し人間としてよりよい集団や社会を作ろうとしている。自分自身との関わりの中でルールやきまりについて捉えている。  （発言・ワークシート）</p>	<p>★ きまりやルールは自分や相手を守るためにあり、安心できる社会を作るためにあることが分かった。自分にも自分の弱さや周囲に流されたりして、きまりや約束を守れないことがあるけれど、自分だけのことを考えるのではなく、相手や集団への影響も考えて行動したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>元さんのように思いやりは大切だけど本当に思いやりのある行動はどちらなのかを考えて行動したい。</li> <li>ルールを守るとは社会のために大切だと言うことが分かった。</li> <li>きまりの意義を意識して、間違った判断をしないように生活していきたい。</li> <li>自分の行動の結果をきちんと考えて、予測しておくことが大切だと思う。</li> </ul>	発問	発問 板書
---------	----------------------------	--	---	----	----------

10 板書計画

